科目名 Subject	特別活動 Special Activities		教員名	秋田/永松/生山/相馬	
開講年次	2	開講時期	通年	単位	1
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30
実践的教育	×				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	◎	◎	◎	◎
科目の概要	本学が学生にとって意義や必要性があると判断した、特別講師による講演や授業の他、ボランティア活動について随時開講する。学内行事についても特別活動の一環である。 行事に参加することによって、大学生としてのマナーや協調性、自主性などを身につける。 資格取得のための実力を向上させる。				
授業の目標	平常の授業とは異なる講座等によって、見識を広めることができる。 教育目標でもある、自ら考え、行動できるようになる。省察する力を身に付けることができる。				
時間外学習 （予習・復習）	授業の性質上、時間内学習と時間外学習との区別が出来ないが、講演レポート作成、ボランティア等時間外学習と感じる部分も時間内との意識でしっかりと取り組むこと。 なお、講演や課外活動に対するレポート作成には合計で30時間ほど必要である。				
教科書・教材	教科書				
	教材				
	使用設備・備品				
	参考文献				
評価方法	受講態度で評価する。課題やレポート提出。 内容により、レポートや提出物がある。全ての内容を勘案して評価する。				
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。				
学生へのフィードバックの方法	個別に実地指導を行います。				
履修上の注意	授業の実施については、掲示板を確認すること。				
本科目履修と関連する資格	資格名	なし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	※学校行事について ①すべて出席をもって評価対象とする。	ホスピタリティ及びコミュニケーション力等の社会人基礎力を身に付けることができる	
第２回			
第３回			
第４回			
第５回			
第６回	※特別講師による講演、授業について ①すべて出席をもって評価対象とする。 ②課題・レポート等課された場合提出物も評価対象とする。	普段の授業では得られない知識経験を得て、社会人基礎力を身に付けることができる	
第７回			
第８回	※ボランティア活動について ①原則八王子市から提供されている活動に参加すること。 （地方出身学生については地元での活動を認める場合もある） ②必ず年1回以上参加すること。 ③参加に関しては各個人で申請すること。ただし、通常授業を避け、時間割で空いている時間帯にするか、夏季、冬季、春季休業期間中、土日祝祭日を利用すること。 ④活動終了後は、ボランティア活動報告書にサイン等をもらってゼミ担当へ提出すること。	ホスピタリティ及びコミュニケーション力等の社会人基礎力を身に付けることができる	
第９回			
第１０回			
第１１回			
第１２回			
第１３回	国家試験対策① 習熟度別にクラス分けをし、筆記試験課目内容の確認と理解をする	練習問題を解きながら理解を深め、知識を増やすことができる	
第１４回	国家試験対策② 実技試験における技術と衛生の理解と実践を徹底的に行う	技術面、衛生面ともに国家試験合格レベルへ到達することができる	
第１５回	国家試験対策③ 筆記試験課目における知識を定着させるため、内容理解を徹底して行う	筆記試験の全課目について合格レベルに到達することができる	